

騒音・振動の技術支援

山本真理 石橋雅之 堀本泰秀 渡邊剛久

1 はじめに

騒音・振動の規制に係る事務は主に市町村が行っている。このため、当センターでは、大気保全課と協力し、市町村職員の騒音振動測定技術の向上を目的に講習会を実施している。

また、市町村等からの要望に基づき、個別事例の調査や指導に関する技術支援を随時実施している。

2 騒音・振動測定技術講習会

市町村職員等騒音・振動測定技術講習会は初級と中級に分けて、毎年6月頃に実施している。2011年度以降の参加者数を表1に示す。

表1 講習会の参加状況(騒音・振動)

年度	参加者数(人)	
	初級(3日)	中級(2日)
2011	24	6
2012	27	9
2013	35	16
2014	30	6
2015	24	9
合計	140	46

2・1 初級講習会

初級講習は主に初めて騒音振動に携わる職員が苦情処理で必要とされる騒音計や振動レベル計などの操作方法について実技を中心とした習得を目指すものである。



図1 道路交通振動測定実習

2・2 中級講習会

中級講習はある程度経験を積んだ職員がより高度な測定技術の習得を目指し、データレコーダ録音、周波数分析、低周波音レベル計の操作方法など、問題解決に向けた測定技術の習得を図るものである。



図2 騒音計の演算機能の説明

3 個別事例の技術支援

市町村では、苦情相談の窓口として常に対応が求められる状況にある。また、机上の学習とは異なり、様々な測定上の制約や苦情の把握に時間を要する事例も多い。このため、当センターでは定期的な講習会とは別に、市町村等からの依頼により個別事例の技術支援も行っている。

3・1 技術支援の状況

2015年度における市町村等への騒音・振動の技術支援は11件であり、その概要を表2に示す。

内訳は、騒音に関するものが8件、低周波音に関するもの5件、及び振動に関するものが2件(重複あり)ある。

また、苦情対象(発生源)としては、空調設備等、工場・事業場の設備機械等に係るものが6件、その他コンサートや野球等特定の活動に係る騒音が2件、その他、航空機、自動車及び発生源不明とするものが1件あった。技術的支援の内容としては、機器操作の実

技指導，測定方法・測定場所の助言，測定データの解析方法及び測定結果の評価に関する助言・技術支援等が多く，状況に応じて対応している。

近年，低周波音に係る苦情が目立っており，適切に測定・評価することが求められている。

4 まとめ

市町村では，様々な苦情に対応する必要がある。当センターでは，技術支援が必要な苦情の傾向等を把握するとともに，測定機器や測定方法の最新の動向を捕捉し，市町村職員等技術講習会(騒音・振動測定技術)の内容に反映している。

表2 技術支援の概要(2015年度)

No.	市町村等	公害の種類			発生源の種類	技術支援内容
		騒音	振動	低周波音		
1	旭市				工場設備(送風機?)	調査方法等に係る助言及び低周波音レベル計の実技指導
2	習志野市				事業所設備(冷温水器)	調査方法及び注意点等について助言
3	富里市				大規模小売店舗?	低周波音レベル計等の実技指導及び測定結果に係る助言
4	習志野市				工場設備(空調?)	調査方法及び結果のとりまとめについて助言
5	八街市				工場設備	機器の使用方法について実技指導及び結果のとりまとめ方法について指導
6	習志野市				不明	音源探査方法及び機器の設定方法等について助言
7	市原市				道路交通振動	測定方法に係る技術指導及びデータ処理について技術支援
8	我孫子市				事業所設備(プロア)	周波数分析について助言及びデータ処理について技術支援
9	酒々井町				少年野球	測定結果のとりまとめ方法等について助言
10	県関係機関				コンサート	騒音計の操作方法について技術指導
11	習志野市				航空機(自衛隊)	測定結果報告書について助言